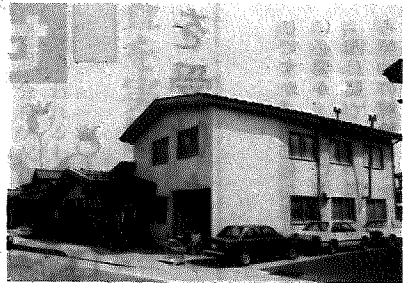


大野町郵便局  
竣工は6月15日の予定



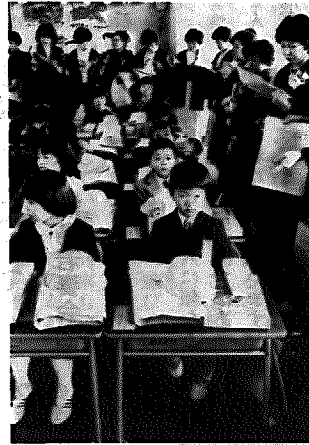
▲大野町郵便局の移転新設工事は、昨年七月末に着工以来、順調に進み、六月十五日には完成の予定です。  
昭和四十二年に建設された現局舎は、駐車場もないうえ、同局が管轄する世帯の急増で手狭となり、住民が不便を感して来たもの。  
今、急ピッチで工事が進められていた新局舎は、鉄筋コンクリート二階建、総面積一五〇三平方メートル。工事費は一億六千万円程で冷暖房も完備され、身体障害者が車いすでも用が足せるように、なだらかなスロープなども設けられる予定。間もなく近代的な局舎が竣工します。  
▲現在の黒崎郵便局

小学校入学式

▼大丈夫かな、ちょっぴり不安な入学式

4月5日(月)、大野小学校で入学式がありました。同校の新入児童は143名。全員がま新しい洋服、ランドセル帽子に身を包み登校です。先生の話真剣に聞く子供たち「小学校って勉強がたいへんだなあ〜」。付き添いのお母さんがたも幾分緊張感があります。「うちの子供は大丈夫かしら〜」一 大丈夫ですよ、おそらく。今、小学校に行ってみれば子供たちの元気な歓声を聞くことができるでしょう。

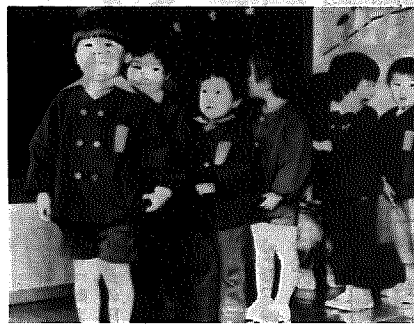
▼四月七日(水)、黒崎中学校の入学式。父親、母親同伴で学校の門をくぐります。在校生の拍手に迎えられ三百四十二人が、少々緊張した面持ちで入場。中沢校長先生が「黒崎町の発展は、君たちの双肩にかかっているといっても過言ではない。初心忘るべからず。後悔先に立たず」と、ちょっぴり厳しいあいさつをしました。



おめでとう  
新一年生!



▲交通安全のお守り  
「愛の鈴」を贈る  
商工会婦人部(部長、横村スミエ)は、今年小学校一年生を迎えた三百三十四人に対し、交通安全に、願いをこめた手作りの「愛の鈴」を四月九日、各小学校に贈りました。  
学校側は思いがけない贈り物に、



▲おにいさん、おねえさんよろしく

「おにいさん、おねえさん、ぼくたちなんにもわからないので、よろしくね」4月7日町内の全保育所での入所式が行われ、ここ寺地保育所では、初めて集団生活に参加する「ももぐみ」さん17人が入所。先生に名前を呼ばれると元気な声で返事をし、さっそく教室に入って、ブロック積み木などで遊んでいました。

入所園児数

保育所名	男	女	計
板井保育所	11	6	17
大野	32	33	65
木場	25	20	45
興野	20	20	40
善久	8	9	17
立仏	11	13	24
寺地	11	11	22
山田	21	22	43
黒鳥保育園	9	7	16
計	148	141	289

入学児童数

校名	男	女	計
板井	6	7	13
大野	87	56	143
木場	17	12	29
黒鳥	7	10	17
立仏	25	29	54
山田	40	33	73
計	182	147	329

「さっそく児童に配布して、ランドセルなどに付けさせ、交通规则を守って、一人の事故者も出さないよう指導します」と温い善意に喜びを語っていました。

鬼の墓

黒崎中一年

保苺 智恵子



今から九百年以上も昔の話。源頼義、義家にほろぼされ、阿倍さだとうの一族黒鳥兵えいが越後にはいつて、住田の青木城に城をかまえて、りやくだつやらんぼう、ろうぜきなどで村をあらしまわりました。困りはてた村人たちは、加茂次郎よしつねに黒鳥征伐をたのんだと。すぐに義綱は兵をあげて、兵えいを攻めほろぼしてしまいました。村の人たちは、黒鳥をとてもおそれていたので、義綱にお願いして、切り落した首と胴を村はずれにうめました。ところがそれから毎晩、首をうめた場所、「胴につきたい、胴につきたい」と首が泣き声をあげ

木場のかみさま

黒鳥小五年 本間 嘉彦



むかし、むかし、木場のお宮にどろぼうが入った。そのどろぼうはぬすんだかみさまの目をとったと、そのかみさまの目は金でできたつたと。どろぼうはかみさまを川へながした。そのかみさまは、あわしまでながれていったとや、そしたら、木場の※1もんがむかえにいったら、かみさまがこういって「おら※2けいらんすけ、まつりになったら、くもにのつて

聞いた人...? 批評(山崎俊一黒鳥小学校長) 木場の祭の話はたいへんおもしろかった。だが知っていたのでしうね。今年の木場のまつりも雨かな。

黒崎の語りべ

その6

この連載は、黒鳥小学校の児童がおぼあさんたちから、実際に聞いて書いた作文です。ですから文章は原文を重視し編集部で直していません。